

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

毎月恒例の火鍋を食べてきました！

今回行ったのは小肥羊の梅田店。

阪急グランドビルの中にある、スタイリッシュなお店です。



今回初めて気付いたのですが、入口に関羽の像がありました。

商売繁盛をつかさどる関帝聖君像は、中華料理店等によく置かれています。

右下の羊もカワイイですね。



そして鍋！

鍋というと冬のイメージがありますが、暑〜い夏に汗を流しつつ食べる火鍋は、冬とは一味違った格別の趣があります。

今回はランチコースで、ラム肉（大）をおかわり。
具材はもちろん香辛料のナツメやクコの実まで完食しました。



お昼を食べた後は阪急百貨店のアジアフェアへ。

写真は冰冰花（ピンピンホァ）のふわ雪ミルク。
台湾発祥のスイーツですが、ミルクで作ったかき氷が、アイスのように絶品でした。



そして、そして。
おみやげに買った台湾ビールと、春水堂のタピオカミルクティー。

春水堂はタピオカミルクティー発祥のお店。
紅茶がまるやかで味わい深く、中のタピオカもモチモチでした。



というわけで。

今回は火鍋&アジアフェアの話でした。

そうこうしているうちに8月ですが、今月も気合を入れて頑張りたいです。

ついに8月、夏本番です！

7月の賞に参加された皆様はお疲れ様でした。

8月締切り組の皆様も、毎日暑いですが、頑張ってください。

いや～。

それにしても暑いですよ～。

東京はそれほどひどくないと聞きますが、大阪はひたすら真夏日の連続で、否応なしに猛暑を満喫しております。

とまあ前置きはこのくらいで。

まずは毎月恒例のパブー版の紹介です。

【らくだ図書館 (55)】

<http://p.booklog.jp/book/108754>

パブーの配信も 55 冊目となりました。

ますます迷走するらくだ図書館を、これからもよろしく願います。

そして8月といえば、第2回カクヨムユーザーミーティングが、21日に開催されます。

抽選結果の発表は8月1日（昨日）でした。

当ブログのコメント常連さんも当選したようですし今から開催が楽しみです。

とまあ、そういうわけで。

イベント盛り沢山の楽しい季節ですが、夏風邪には十分に気を付けて（自戒）、夏を思いっきりエンジョイしたいです。

常木らくだです。

今回はえんため大賞の話題です。

ガールズコミック部門の結果が更新されましたが、前期に続き、後期も受賞作なしという残念な結果になりました。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/18gc2.html>

ガールズコミック部門、BL コミック部門、ともに該当作なしという結果となりました。

昨今、ユーザーから独自に発信されたコンテンツが、大きな人気を呼んでいます。

ニコニコ動画や Youtube、Pixiv や小説家になろうなど、さまざまな媒体で作品を手軽に発表することが可能になっており、なおかつその作品が高く評価され、多くのファンを獲得しています。

そのような状況の中、漫画の賞に応募し、受賞してデビューするという流れが、一つの転換期を迎えたことを感じています。

今後のガールズコミック賞、BL コミック賞については、これからの漫画賞の有り方をもう一度見つめ直すとともに、読者に望まれる新しい才能をどのように見つけていくか、改めて問い直して行きたいと思えます。

以上は編集部の総評ですが、今は面白い作品がネット上に溢れている状況で、従来の出版社による新人賞が全体的に衰退傾向にあるように感じられます。

ラノベ部門は今のところ存続していますが、今後もこの傾向は覆らないと思えますし、新人賞が転換期にあるのかもしれないね。

自分は公募の人間なのでこの流れは寂しいですが、この状況で何ができるのかしっかり考えて、これからも柔軟に活動していきたいと思えます。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで連載中の企画、「小説を書くためのプチアドバイス」ですが、第2回分がアップされました。

今回のテーマは、
『作家を目指すなら必須スキル！ 原稿用紙換算で書く習慣』

詳細は下記サイトをご覧ください。
ページの下の方に第1回へのリンクも載っています。

【小説を書くためのプチアドバイス】
<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/000627/>

記事を要約すると、
「作家の仕事は基本的に原稿用紙換算で依頼されるので、〇〇枚という文量の感覚を、体感として身につけておいた方がいいんじゃないか」という内容です。

これ、皆様はいかがでしょうか。

ちなみに自分は42字×34行で書いているので、その体裁で〇〇枚と言われたら具体的にイメージできませんが、原稿用紙ではなかなか難しいかもしれません。

おまけに今はウェブ応募が主流ですからね。
テキストデータなら行数の設定がいらないんですよね。

というわけで原稿用紙換算には疎いですが、デビューしたら確かに必要になってくる感覚なので、今から気を付けておきたいと思いました。

文学フリマ短編賞の1次発表- 2016.08.05 Fri

こんにちは、らくだです。

前も言いましたが大阪は毎日のように猛暑日です。

夏は楽しい季節ではありますが、これだけ暑いと困惑しますよね。

さてさて。

文学フリマ短編小説賞の1次通過作品が発表されました。

特設サイトには記載がありませんが、本日夕方頃に更新された、なろうのブログで発表されています。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://blog.syosetu.com/?itemid=2130>

小説を読もうで検索したところ、文学フリマのタグが付いている小説は、なんと1,293作品もありました。

そのうち1次通過が33作品なので、通過率は2.5%くらいでしょうか。

いやはや……。

1次でこの数字とは恐ろしい……。

ちなみに以前紹介した通り、この賞は作家デビューに直接つながる企画ではありませんが、にも関わらずこれだけ盛り上がるのは素晴らしいことですよね。

この中からどの作品が受賞するのか、最終発表を楽しみに待ちたいです。

えんためガールズの3次発表- 2016.08.06 Sat

こんにちは、らくだです。

えんためガールズ（えんため大賞ビーズログ文庫部門）の3次発表がありました。

1週間前に2次発表があったばかりだと言うのに、まさか1週間後に3次発表があるとは驚きです。

なにはともあれ通過者の皆様に祝福を。

この賞はたしか3次のあとが最終なので、ここから受賞者が決まるわけですね。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th_bslogbunko_3rd.html

- ・ 応募総数 423 本
- ・ 1次通過 63 本（約 15 %）
- ・ 2次通過 19 本（約 4 %）
- ・ 3次通過（最終候補） 6 本（約 1.4 %）

さっそくチェックしてきましたが、ファミ通文庫部門でお名前を見た方が、ガールズの最終に残っていました。

ちょっと……。

少年系も少女系も参加して、しかも片方は最終とか、どんだけ才能持ってるの……。

いやでも素直に凄いですよね。

それだけ実力があれば、デビュー後も活躍できると思いますし、見習いたい限りです。

ちなみに少年系のファミ通文庫部門の3次発表は、8月12日（金）という公式アナウンスが出ているので、自分は落選済みですがチェックしようと思います。

以上、えんためガールズ3次発表の話題でした。

常木らくだです。

前回に引き続き今回も発表の話題です。

第 183 回コバルト短編の結果が、8 月 5 日（金）に発表されました。

今回は入賞 1 作品、最終選考 3 作品。

それから「もう一步の作品」も発表されています。

お名前のあった皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no183/>

コバ短は原稿本文と選評が公開されますが、自分は先入観なく作品を楽しみたいので、原稿本文を読んだから選評を確認する派です。

この一連の作業が楽しいですよ。

選評と自分の感想が同じだったら「うんうん」となるし、違ったら違ったで「プロはこういう見方をするんだな」という発見があるし、どちらにしても投稿者にとって勉強になるんじゃないかと。

そういうわけで、雑誌時代から毎回楽しんでいたコバ短ですが、今はウェブ化されて過去の発表も簡単に閲覧できるので、賞のファンとしてはありがたい限りだと思います。

とか言いつつ自分は挑戦した経験がないんですよ。

短編小説を書くのって長編小説よりも逆に難しいような気がします。

(いやまあ長編小説も書けないんですが……汗)

とにかく以上、コバルト短編の発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ホラー大賞やあらすじ大賞など、様々な投稿企画を開催しているウェブコバルトが、また新たな賞を発表しました。

今回はその名も、文房具小説賞。
筆記具メーカーのぺんてるが協賛する企画のようです。

詳細は下記リンク先をご覧ください。

【応募要項】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/stationery-award-apply/>

- ・ 募集内容 文房具のある物語（ジャンルは不問）
- ・ 規定枚数 原稿用紙 50 枚以内
- ・ 応募方法 ウェブ投稿のみ受付
- ・ 締切 2016 年 10 月 2 日（日） 23 : 59
- ・ 賞金 3 万円 & 副賞にぺんてる文房具セット

規定枚数は原稿用紙 50 枚以内なので、短編～中編くらいのボリュームですね。

締切は 10 月頭でまだ結構先ですし、文房具がテーマの賞というのも斬新ですし、自分も投稿してみようかと思えます。

それにしても、最近のウェブコバルトは投稿企画が豊富なので、直接参加したり結果を見たりするのが楽しいですね。

デビューを目指した真剣勝負も大事ですが、こういう純粋に楽しめる企画も重要だと思うので、これからもどんどん活発化して欲しいです。

やだー！

明日は電撃の2次発表だと思ってたら、もう更新されてるじゃないですかー！

というわけで。

今日はまだ8月9日ですが、公式発表がありました。

去年は2次と3次をいきなり同時に発表したり、今年はそれに加えてサイトの更新が1日早かったり、最近の電撃大賞はフェイントが激しいですね。

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_23_01.html

- ・ 応募総数 4,878 本
- ・ 1次通過 661 本 (13.55 %)
- ・ 2次通過 218 本 (4.47 %)
- ・ 3次通過 81 本 (1.66 %)

え？

常木らくだの名前がない？

そりゃ今年は送ってないからな！

まあ送っても名前はなかったと思うけどな！

というわけで、自分は8年振りに電撃不参加だったわけですが。

発表によって精神状態が左右されないのはラクな反面、自分が完全な部外者であることに、奇妙な寂しさも感じているのが正直な感想でしょうか。

来年どうするかは今はまだわからない状況ですが、自分の気持ちをしっかりと見つめ直し、参加できる状態であれば復帰したいと思っています。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「夏休み」】

今週のテーマは夏休み！

夏休みと言えばやっぱり花火！

というわけで記事を書くのが遅くなりましたが、8月6日（土）に開催された、淀川花火大会の様子を紹介したいと思います。



開始早々この迫力。

明るすぎて写真に撮ると爆発みたいですね。

去年のブログでも紹介しましたが、2016年の淀川花火大会は、一段とパワーアップした印象でした。



こちらはオーソドックスな大玉花火。

こういう大玉花火は、見た目の綺麗さだけでなく、音の迫力も凄いです。

下は色とりどりの連続花火。

花火自体は中規模ですが、相乗効果が目を引きます。



近ごろは珍しい仕掛け花火や、変わり種の花火も増えました。

中でも多いのはハート型。

確か去年もありましたが、今年も引き続き登場です。



続いてはカエル型。

普通の花火は横から見ても丸だと思いますが、こういう特殊な花火って、横から見たら一体どう見えるんでしょうか。



続いてはニコニコマーク！

しかし、つり目。

ニコニコというより、やんちゃな印象です。



この後も工夫を凝らした花火が続きました。

実施時間は途切れなく約1時間という見応えです。

打ち上げ本数は正式に公表はされていませんが、一説によると、約20,000発程度ではないかと言われています。



終盤はシャワーのように畳み掛ける展開でした。

日本の夏と言えばやっぱり花火ですね。

まだまだ夏は続きますが、いい思い出になりました。



というわけで。

淀川花火大会の写真を一部分ですが紹介しました。

次回は通常の投稿記事に戻ろうと思います！

こんにちは、らくだです。

今さらですがオリンピックが開幕しましたね。
どの競技も見始めると面白く、観戦に熱が入ってしまいます。

さて、本日は賞の紹介を。

日本語検定の主催による、日本語大賞が開催中です。
詳しい応募要項については公式ホームページをご確認ください。

【日本語大賞】

<http://www.nihongokentei.jp/amuse/grandprize/>

- ・テーマ 「あまり使いたくない日本語・もっと使いたい日本語」
- ・応募期間 平成 28 年 6 月 1 日（水）～9 月 30 日（金）
- ・規定字数 2,000 字～3,200 字（一般の部）

今回は「使いたい日本語・使いたくない日本語」ですが、応募要項の PDF によると、どちらか片方だけをテーマにしてもオッケーのようです。

ちなみに私の場合、あまり使いたくない日本語は、ズバリ「落選」です。

落選って本当にイヤな言葉ですよね……。
聞いた瞬間テンションが大きく下がりますもんね……。

しかし、これだけ嫌いな単語なのに、使う機会は多いのが悲しいところ（泣）

それはまあ冗談……でもないですが、規定字数は 2,000 字～3,200 字という控えめなボリュームなので、ご興味のある皆様は参加を検討されてみてはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

公式サイトのお知らせ通り、えんため大賞・ファミ通文庫部門の最終候補作品が、本日発表されました。

通過された皆様はおめでとうだぜ、てやんでい！

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th_famitsubunko_3rd.html

- ・ 応募総数 619 本
- ・ 1次通過 165 本 (約 27%)
- ・ 2次通過 13 本 (約 2%)
- ・ 3次通過 4 本 (約 0.6%)

3次通過（最終候補）は約 0.6% という狭き門でしたが、この激戦を勝ち抜いた作品は、是非とも出版されて人気作品になって欲しいですね。

いつもそう思っていますが、自分が途中で落ちてしまった賞については、ことさらそのように感じます。

ちなみに受賞作の発表は、えんため大賞の特設ページには 8 月下旬としか書いてませんが、エフビーオンラインに 26 日（金）予定だと具体的に書いてありました。

【エフビーオンライン】

<http://fbonline.jp/15enter/15enter.html>

えんため大賞は結構毎回そうなのですが、賞の特設ページにない情報がエフビーオンラインに載っていることがあるので、両方あわせて確認するのがオススメです。

こんにちは、らくだです。

いやはや。

世間はお盆真っ盛りですね。

自分は実家が近すぎるので逆に帰省しませんが、休みを取ったり遠出したり、夏を満喫している方も多いのではないのでしょうか。

さて、今回は発表の話題を。

お盆といえばホラー（？）ということで、ウェブコバルトの投稿企画、ホラー短編賞の結果が発表されました。

受賞された皆様はおめでとございます！

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/horror_award/

上のサイトにありますが、今回の応募総数は 96 本。

前回の桑原水菜プロデュースが 125 本だったので、毎回 100 本くらい応募が集まる感じでしょうか。

ちなみに今回選ばれた 4 本は、8 月 26 日（金）に、原稿本文がアップされるとか。

自分はホラーが苦手な小心者なので、公開されても怖くて読めない（汗）ような気がします、講評はチェックしようと思っています。

以上、コバルトホラー短編賞の発表の話題でした。

最近らくだ図書館の更新が止まっている！
これはカクヨムから受賞連絡が来たに違いない！

というコメントが寄せられましたが、実際はその逆で電話もメールも一切なく、ふてくされてサボっているだけです。

ははは……。
受賞者には連絡もう行ってるんでしょうね……。

そんな未熟者の自分ですが、久し振りにカクヨムの編集画面をチェックしたところ、嬉しいレビューを頂きました。

【らくだ図書館（カクヨム版）レビュー】

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054881059472/reviews>

簡単にまとめると、

- ・このエッセイはとても読みやすく、文章の節々から人徳が滲み出ている
- ・この筆者はプロの作家になれなくとも、それ以上に愛される人になれるだろう

という内容で、いやもう本っ当に、自分には勿体ない褒め言葉です。

人徳ってマジですか……。
文章からアホさ加減が滲み出ている、なら確かに納得できるんですが……。

とまあそういうわけで、こんな有り難い応援を受けた以上は、一人で勝手にふてくされている場合ではなく、もっと期待に添えるよう前向きに活動しなければと思いました。

それにしても、カクヨムさん。
引き続き電話待ってますので、どうぞよろしくお願いします。

こんにちは、らくだです。

今年は五輪と甲子園が同日程で、連日連夜、観戦を楽しんでいる毎日です。

本気の勝負って見る者の心を揺さぶりますよね。

それに比べたら規模は非常に小さいですが、自分も負けずに、小説投稿で本気の勝負をしたいものです。

さてさて。

集英社ライトノベル新人賞の 2 次結果が発表されました。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx5thAward/result.html>

- ・ 応募総数 681 本
- ・ 1 次通過 138 本 (約 20 %)
- ・ 2 次通過 27 本 (約 4 %)

あと公式ブログの方に情報がありますが、1 次選考落選作について、評価シートの発送が完了した模様です。

かつてのスーパーダッシュ時代は評価シートの発送が遅く、自分も 1 年待ちを経験したことがありますが(汗)、今は早くなったので安心して投稿できるようになりました。

とまあそれはさておき。

3 次発表は 9 月中旬らしいので、今から更新が楽しみですね。

以上、集英社ラノベ 2 次発表の話題でした。

アイスクリスタルの結果？

もちろん今回も落選でしたけど？

アイスクリスタル	【アイスクリスタル】エントリーを受け付けました	2016/8/21
アイスクリスタル	【アイスクリスタル】エントリーを受け付けました	2016/2/17
アイスクリスタル	【アイスクリスタル】エントリーを受け付けました	2015/7/28
アイスクリスタル	【アイスクリスタル】エントリーを受け付けました	2015/2/17
アイスクリスタル	エントリーありがとうございます	2014/8/19
アイスクリスタル事務局	【アイスクリスタル】落選のご案内	2016/8/18
アイスクリスタル事務局	【アイスクリスタル】落選のご案内	2016/3/4

メールタイトル「落選のご案内」。

やめてー！

それは投稿者を傷付ける言葉よー！

とまあそういうわけで、アイクリは落選でした。

落ちたことは非常に残念ですが、また次回応募しようと思います。

ちなみにアイスクリスタルとは、試合やショーのチケットを先行購入できる、アイススケートファンクラブです。

その他にもスケーターとの交流会など、会員限定イベントがあつたりします。

【公式サイト】

<https://www.icecrystalnet.com/>

それにしてもフィギュアスケートって、ここ10年くらいで、一気に人気スポーツになりましたよね。

昔は全日本もNHK杯も余裕で買えたのに、今や発売と同時にチケットが売り切れ、なかなか観戦に行けないような厳しい状況。

それ故アイクリの競争率も上がっているわけですが、それだけ盛り上がるのは嬉しいことですし、これからも懲りずにエントリーを続けようと思います。

こんにちは、らくだです。

8月も後半なのに残暑が厳しい毎日です。
早く冷房がいらぬ季節になって欲しいですね。

さてさて。

夏も終わりということで、「いたばし国際絵本翻訳大賞」のエントリー受付が、今年も開始されました。

詳細は下記リンク先に記載されています。

【応募要項】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/078/078570.html

- ・ エントリー締切 2016年10月31日(月)
- ・ 作品提出締切 2016年11月30日(水)
- ・ 結果発表 2017年2月下旬予定
- ・ 定員 英語部門1,000人、イタリア語部門300人
- ・ 参加費 英語部門2,800円、イタリア語部門3,900円

この賞は参加費が必要ですが、基本的に絵本代と郵送費の実費なので、ぼったくりではありません。
(絵本って高いですからね・汗)

というわけで。

ここ数年参加を見送ってききましたが、今年は自分も、挑戦してみようかなと思います。

以上、いたばし国際絵本翻訳大賞エントリー開始の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ファンタジアの締切が今月末に迫っていますね。
参加予定の皆様は追い込みで忙しい頃合いでしょうか。

そのファンタジア大賞ですが、他の賞にはない独自の規定があったりするので、老婆心でまとめてみました。

・再投稿ダメ、ゼツタイ

⇒応募後に不備が見つかった場合は問い合わせを

・ファイル名は英数字を使用

⇒日本語だとエラーになる可能性あり

・読み仮名に「ヴ」「!?」「、」等は使用できない

⇒近い発音に置き換える、記号は無視する等の対処を

・ペンネームの名字と名前の間は一マス空けて登録する

⇒つなげても規定違反ではないが、空けて登録した方が助かるらしい

詳細は下記 Q&A ページに記載。

特に気になったのは以上ですが、他にも色々な項目が載っています。

【ファンタジア大賞 Q&A】

<http://www.fantasiataisho.com/qa/>

他の新人賞との違いはもちろんですが、ウェブ投稿の細かい規定は回ごとに変わったりするので、欠かさずチェックしたいところですね。

以上、ファンタジア大賞 Q&A の話題でした。

どうも！

ブログの更新をサボることに定評のある常木らくだです！

(威張るな)

というわけでご無沙汰している最近ですが、あれこれ忙しくしている間に、らくだ図書館の紙書籍が自宅へ届きました。

このブログを始めて以来、半年ごとに個人的に製本しているのですが、今回で9冊目になります。



わざわざ製本しても読み返す機会なんて滅多にないし、もうやめよっかなーと思っていたのですが、1,000円引きクーポンが届いたので注文しました。

いやはや……。

ブログ出版局さん、商売上手やでえ……。

ちなみに中はこんな感じ。

らくだ図書館の黒歴史、いや、思い出が詰まっています。



日記もある意味そうですが、自分の行動をこうして書き留めておいたら、あとあと大きな財産になるんじゃないかと。

とまあそういうわけで。

何冊まで続くのか自分でもわかりませんが、このブログをやめない限り、今後もブログ本は作り続けようと思います。

皆様はフリクションボールをご存知でしょうか。
パイロット社が出している摩擦で消えるボールペンです。

消せるボールペン？
そんな邪道なもの使ってたまるか！

と今まで思っていたのですが、このデザインに惹かれ、試しに1本買ってみました。

ええやん……。
わかる人だけわかってくれ……。



<感想>

- ・書き心地は結構いい
- ・摩擦だから消しカスはない
- ・完全ではないが問題ない程度に消える
- ・紙がほとんど傷付かない（←消しゴムとの最大の違い）

あれ……？
これ想像以上にいい製品……？

というわけでデザイン云々関係なく、フリクションボール自体のファンになり、雑貨屋で他の色も買ってきました。

邪道だと思っていたテープのりも、いざ手に取って見たら予想以上に使いやすかったし、最近は文房具も進化してますよね。

変な固定観念を持って敬遠するのではなく、気になった物については、どんどん使ってみるのがいいと思いました。

第2回カクヨムユーザーミーティング- 2016.08.21 Sun

先日ふらりとユニクロへ行ったら、新着コーナーにヒートテックの肌着がズラリと並んでいて、季節を先取りしすぎだと思いました。

そんなん買うかー！
裸でも暑いんだぞー！
(謎の逆ギレ)

それはさておき第2回カクヨムユーザーミーティングが開催されました。
まだまだ先だなーと思っていたのに、時が流れるのはあっという間ですね。

以下は公式ブログの紹介記事です。

[【カクヨムユーザーミーティング Vol.2】を開催しました](#)

この公式ブログには簡単な説明しか載っていませんが、なんとありがたいことに、参加された方が詳細レポートを上げてくださっています。

オススメのレポートはこちら。
イベントの説明だけでなく、読み物としても面白いです。

[【カクヨムユーザーミーティング《Vol.2》に行ってきた。\(著・枕崎純之助\)】](#)

特に興味を引かれたのは、やはり交流会でしょうか。
スタッフの配慮などもあり、どのテーブルも、非常に話が弾んだ模様です。

以前のアンケートを見ると地方開催は難しそうですが、こういう機会は貴重ですし、今後も定期的にイベントが実施されると嬉しいですね。

以上、第2回カクヨムユーザーミーティングの話題でした。

こんにちは、らくだです。
そろそろ夏も終わりですね。

自分が子供だったのは遠い昔ですが、まるで夏休みの宿題が終わらない小学生のように、サボったブログを更新する毎日です。

さて本題。
第 18 回えんため大賞の受賞作品が発表されました。

ファミ通部門とピースログ部門、各 2 本が受賞に輝いた模様です。

【ファミ通文庫部門】

- ・ 応募総数 619 本
- ・ 1 次通過 165 本 (約 27 %)
- ・ 2 次通過 13 本 (約 2 %)
- ・ 3 次通過 4 本 (約 0.6 %)
- ・ 受賞 2 本 (約 0.3 %)

【ピースログ文庫部門】

- ・ 応募総数 423 本
- ・ 1 次通過 63 本 (約 15 %)
- ・ 2 次通過 19 本 (約 4 %)
- ・ 3 次通過 6 本 (約 1.4 %)
- ・ 受賞 2 本 (約 0.5 %)

あらすじや受賞者コメント、編集部からの講評などは、後日公開されるようです。

何度も言う通り自分は 1 次で落ちましたが、受賞した作品がどういう内容だったのか、情報の更新を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルト投稿企画のホラー短編賞ですが、先週の結果発表に引き続き、受賞作品&最終作品の本文が公開されました。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/horror_award/

え？

感想はどうかって？

いや、その、すみません。

紹介しておきながら、自分は読んでません。

だって怖いのが苦手なんだから！

ホラーじゃなかったら喜んで読むってば！

(謎の弁解)

というわけで具体的な感想は書けませんが、中にはホラー好きな方もいらっしゃると思うので、チェックされてみてはいかがでしょうか。

ちなみにコバルトの投稿企画ですが、

- ・ 第3弾 あらすじ大賞 ⇒ 発表待ち
- ・ 第4弾 文房具小説賞 ⇒ 10月2日(日) 締切

という予定。

常にこういう企画があるのは、投稿者として楽しいですね。

コバルトブログやツイッターを見た感じ、今後も色々な企画がありそうなので、最近情報を追っていきたいと思います。

常木らくだです。

今回も引き続き発表の話題です。

第22回スニーカー大賞（春締切り分）の1次発表がありました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

しかしスニーカーに限った話ではないですが、近ごろ通過リストで知っている名前を見る機会が、以前より少なくなったような感じがします。

まあね……。

古い知り合いは全員デビューしてるからね……。

（遠くを見つめる）

あとはやっぱり、せっかくお近付きになれても、途中で投稿をやめてしまう方々が多いのが理由でしょうか。

だからこそ長年の知り合いには好意を寄せているわけですが、あせって活動しても自分にとっていい影響はないと思うので、腰を落ち着けてじっくり地道に取り組んでいきたいところです。

なんだか話がグチっぽくなりましたが、スニーカーの発表は「今月から随時」なので、近いうちに2次発表がありそうですね。

以上、スニーカー大賞1次発表の話題でした。

8月24日に放送されたカクヨム放送局 Vol.3 を、遅ればせながらタイムシフトで視聴しました。

以下、簡単なまとめです。

【お知らせ】

- ・カクヨムユーザーミーティング Vol.2 の振り返り
- ・「グリムノーツゲームシナリオ用小説コンテスト」受付開始
- ・「漫画原作小説コンテスト」締切間近
- ・ユーザー投稿作品の書籍化の宣伝

【今月の気になる】

- ・声優のお二人が気になった作品のキャッチコピーを色々なシチュエーションで読み上げるコーナー
羽多野さん「幼稚園児みたいに」
高橋さん「セクシーに」
というお題でお気に入り作品のキャッチコピーを披露

【告知】

- ・ビズログ文庫×カクヨム「恋愛小説コンテスト」開催決定（詳細は9月発表）

というわけで次の企画は恋愛小説コンテスト。

公式サイトにはまだ告知が載っておらず、ラジオでの初出し情報だったみたいです。

ビズログ主催なので女性向けになりそうですが、具体的にどんなコンテストなのか、9月の詳細発表を楽しみに待ちたいところです。

猛暑？

もうしょーがないよ！

ってくらいの厳しい猛暑でしたが、台風の影響か、最近は少しだけ涼しくなりました。
このまま暑さが戻ることなく、早く秋になって欲しいですね。

さてさて。

前にもチラリと紹介しましたが、ウェブ小説の書籍化を手掛けるカドカワ BOOKS さんが、原稿の持ち込みを受付中です。

詳細は以下参照。

持ち込みといっても会社訪問ではなくウェブからの応募です。

[【応募フォーム】](#)

というわけで。

自分もカクヨム掲載作品を投稿しました。

この持ち込み制度が始まった時は非公開だったんですけどね。

その後公募に落選して再公開したので、今なら持ち込みに参加できるな一と。

まあそんな簡単に作家デビューできるわけではなく、数日後に落選のご案内が届くに決まっていますが（ウルトラ悲観的）、それまではせめて儂い夢を見ていようと思います。

ちなみにカクヨムエッセイですが、今のところ連絡は一切ありません。

そんなわけで非常にガッカリしていますが、自分の作品はまだ受賞レベルではないという意味だと思うので、これからもさらに一層精進を重ねたいです。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「防災」】

今年は記録的な猛暑だったり、かと思えば挙動不審な台風がやって来たり、気候がなかなか安定しませんね。

さてさて。

9月1日は防災の日ということで、今週のブログテーマは「防災」です。

それにちなんで……というわけではありませんが、自分も防災グッズを一通り準備してみました。

<中身>

非常食、救急用品、ミネラルウォーター、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、耐熱アルミシート、防災用ラジオ、乾電池、その他色々



しかしこのリュック重すぎ。

はかってみたら7キロもありました。

ミネラルウォーターのせいか……。

いやでも水は非常時に必要だから……。

(心配性)

こうした防災グッズは、使用する機会が来ないことが本来が一番ですが、いざという時のために準備しておいて損はないですよ。

それにしても今年は台風の当たり年なんじゃないかな。

来てしまったものは仕方ありませんが、被害が少ないことを祈るばかりです。

こんにちは、らくだです。

カドカワ BOOKS さんからメールが来たので、「うっひょおおお！」と思いつつ本文を確認したら、なんのことはない原稿受付完了の連絡でした。

そうだよね……。

そんなに早く結果は出ないよね……。

しかしコレ、不採用だった場合は落選のご案内が届くわけで、メールを受け取って悲しみに暮れる自分が今から想像できるんですが（汗）

通過リストに自分の名前がないのも切ないですが、落選をわざわざ通知されるのも切ないですよ。

というわけで。

落選メールを受け取った時に動揺しないよう、メンタル面のウォーミングアップを、今のうちから充分にしておこうと思います。

（落ちる前提）

（いやだって実際落ちるし）

それはさておき、8月ももう下旬。

ひどい猛暑だった大阪も、少しだけ涼しくなりました。

野性時代やら富士見ファンタジアやら、今月も締切が多いですが、参加予定の皆様は頑張ってください。

自分とはりあえずエッセイの発表待ちをしていますが、なんだか見込みがなさそうな状況なので、そろそろ次へ向けて動き出そうかなあーという感じです。

こんにちは、らくだです。

もうすぐオーバーラップの締切だな……。
なにか新着情報がないか調べてみようか……。

と思ってホームページを訪問したら、年2回に減ったはずの締切が、4回に戻っているじゃないですか！

【応募要項】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/>

というわけで。

5月の募集分から年4回に戻ったようです。

遅すぎる情報ですみません……。

自分が投稿しない賞はチェックが甘くなってしまうので……。

いや、昔はオーバーラップさん好きでよく送ってたんですが、何を出しても「そんな攻撃は効かんぞ！」と言わんばかりに落とされてしまうんですよ。

(もちろん責任は自分にあります)

ちなみに各ターンは、

- ・ 第1ターン 5月末 (選考中・2次まで発表済み)
- ・ 第2ターン 8月末 (もうすぐ締切)
- ・ 第3ターン 11月末
- ・ 第4ターン 2月末

という感じですが、今後は重要な情報を見落とさないよう、小まめにチェックしていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ラノベ文芸の2次発表は9月2日という告知が出ましたが、そういえば1次の記事を書いていなかったの
で、非常に今更ですが発表ページのリンクを載せておきます。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

http://www.fantasiataisho.com/contest/4th_bungei.php

今回の1次通過は23本。

個人的に気になったのは「京都市上京区……」の作品でしょうか。

ご存知の方も多いと思いますが、京都の住所って、とんでもなく長いんですよね。

【基本表記】

府、市、区、南北の通り、東西の通り、上ル下ル西入ル東入ル、町名、番地

ここにさらにマンション名なんか加わった場合、年賀状の宛名欄に書き切るのが大変で、毎年フォントを
工夫したり地味に苦労しています。

という感じで大変ではありますが、「上ル下ル」とかは他の地域にない表現なので、なんだかちょっと格好
いい気が。

せっかく自分は作家（になりたい人）なので、京都が舞台の小説も、いつか書いてみたいなーと思っていま
す。

話が逸れましたが、2次発表は9月2日。

公式サイトが更新されたら、また話題にしようと思います。

常木らくだです。

とうとう8月も終わりですね。

月末の賞に投稿された皆様はお疲れ様でした。

来月もガガガやMFなどがありますが、参加する方々は頑張ってください。

さて本題。

ラノベ文芸の京都小説が気になると書いたところ、なんとその後、作者様からコメントを頂いてしまいました。

うわあああ！

ありがとうございます！

作品が通過して書籍化するよう願っています。

いやしかしこうやって交流できるのは嬉しいですね。

昔はインターネットなんて存在しなかったので、一人で黙々と活動するしかなかったわけですが、今はこうして投稿者同士でやり取りができるので、便利な世の中になったものだなあと思います。

そんな交流も投稿の楽しみの一つなので、まだまだ至らない自分ではありますが、これからもお付き合い頂ければ幸いです。

それにしても今月は、ひたすら結果待ちをしてただけで、思えばまったく小説を書いていないような気が……（汗）

もうじき過ごしやすくなるはずなので、夏の遅れを取り戻すべく、もりもり創作活動したいところです。